

同志社大学 商学部

Faculty of Commerce
2024

Be a Business Professional



ホームページで最新情報をチェック

Home Page

新たな100年を歩み出しています。
同志社専門学校高等商業部1922年設立

商学部の詳しい情報は「同志社大学商学部ホームページ」をご覧ください。学部概要や進路・就職、めざせる資格の説明など、もっと知りたい!に尽えられる情報が満載です。

入試情報はここからチェック

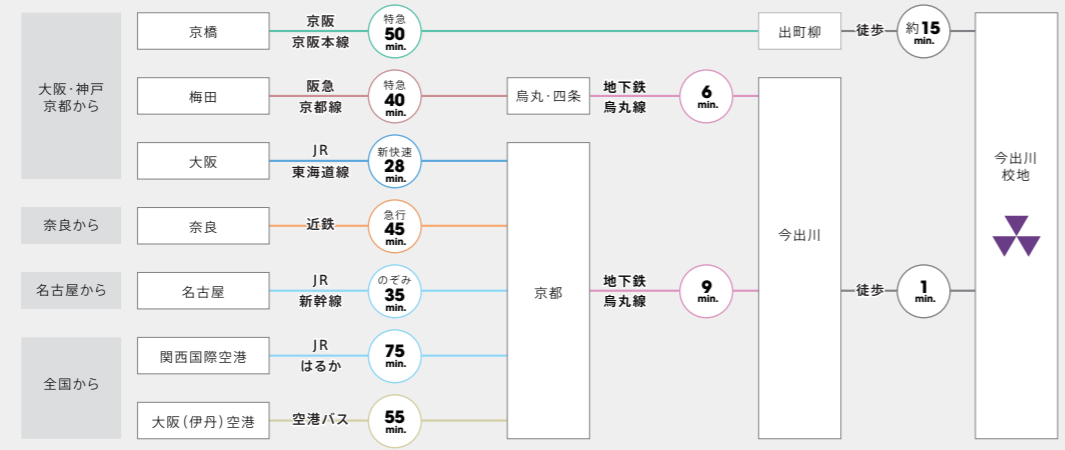
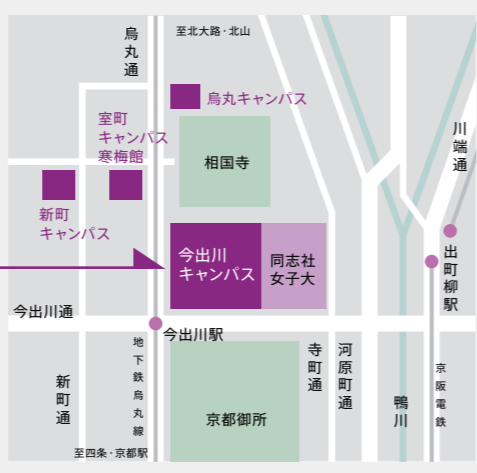
<https://com.doshisha.ac.jp/>
同志社 商学部

Access Map

「京都駅」から地下鉄で約10分
○京阪「出町柳」駅から徒歩15分
○地下鉄「今出川」駅から徒歩1分



商学部事務室・研究室はこちら!



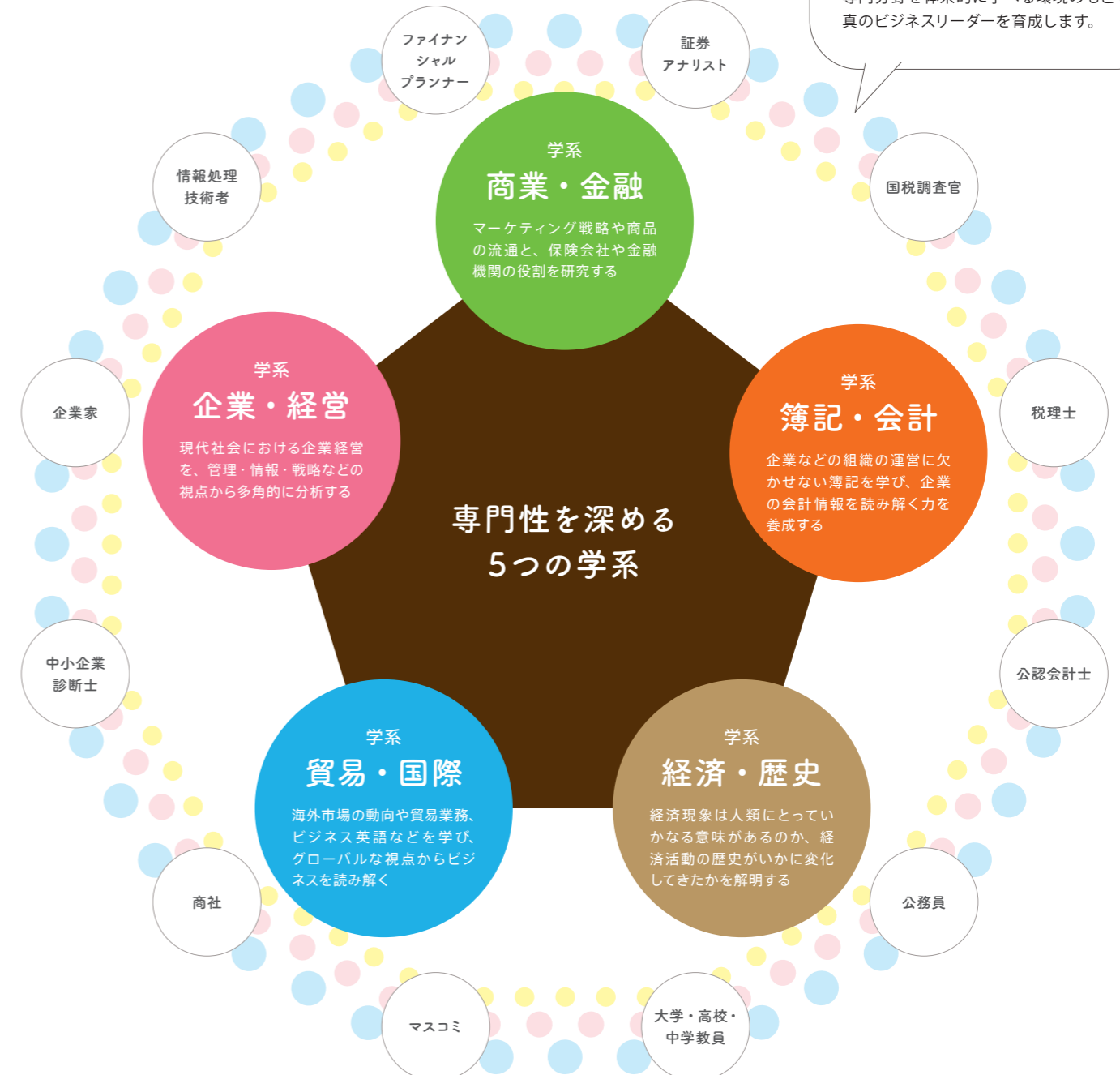
Be a Business Professional

同志社で学ぶ。「ビジネス」を学ぶ。グローバル・リーダーシップを学ぶ。

現代社会のまっただなかに飛び込み、自発的な問題発見能力と冷静な判断能力によってグローバルに活躍できる人材の育成を目指す同志社の「商学部」。キリスト教主義・自由主義・国際主義を柱とする教育理念のもと、経済活動の主体を人間と捉え、「良心を手腕に運用する」人材を社会に数多く輩出してきました。学生に求めるものは、飽くなき探究心と論理的な思考、そして明確な目的意識——三つの向上心を携えて、伝統ある同志社の「商学」の門を叩いて欲しい。

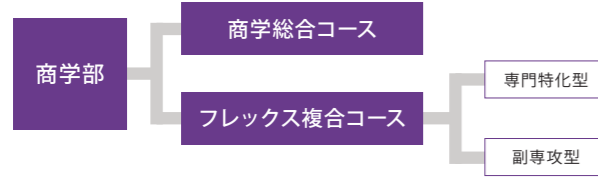


将来のキャリアビジョンを形成しながら、職業分野と直結した実践的な内容を学べるように配慮しています。専門分野を体系的に学べる環境のもとで、真のビジネスリーダーを育成します。



学び方を選ぶ2つのコース

多彩な進路選択、多様な学問的関心に対応するために、商学部では2つのコースを設定しています。



商学総合コース	商学部の5つの学系から主学系(自ら商学部で何を勉強するのかという専門領域)、副学系(専門領域の修得に必要な周辺領域)の2つの学系を選択し、専門領域を総合的・体系的に学ぶコースです。
フレックス複合コース	商学部の5つの学系から主学系を選択した上で、専門分野に重点をおいた学修を行う「専門特化型」か、多様な進路選択・関心領域への学修に応えた「副専攻型」かを選択して学ぶコースです。
専門特化型	特定の分野をより重点的に学ぶことができます。(例えば公認会計士や税理士などの商学に直結した専門職に就きたい場合などに関連する科目を重点的に学修できます。)
副専攻型	商学に加えて、法学や社会学などの周辺領域や教職、国際など多様な将来像に応えた科目を副専攻として選択することも可能です。

Student Voice

ここがよかった! 商学総合コースとフレックス複合コース

商学総合コースでは、3年次の主学系・副学系の選択までに自分の興味や関心がある分野についてじっくり考える時間が持てます。2年次に参加した派遣留学での経験や、1・2年次に学んだ各学系の科目や教養科目から得た知識をもとに、自らの興味分野をはっきりと見定め、それから学系選択できたのがよかったと思います。(商学総合コース3回生)

フレックス複合コースでは、専門科目を2年生から履修することができます。そのおかげで、私は早い段階で興味のある分野と出会い、集中してそれに取り組むことができました。主体的な学びが求められる大学において、早くから専門科目を掘り下げて勉強し、専門性を高められることは大きな強みだと思います。(フレックス複合コース4回生)

ここが違う! 商学と経済学

私たちの生活に必要な財貨やサービスの多くは市場で売買されます。そのときの価格と取引量は需要曲線と供給曲線が交わることで定まると教えるのが経済学です。ところがこの需要曲線と供給曲線は自然現象のようにおのずから現れるものではありません。その背後には多くの人間ドラマがあります。商学部では、この経済現象を具体的な人間活動のレベルから多角的に分析していきます。ここが同じ経済現象を取り扱いながら、それを総合し、抽象的に解明しようとする経済学部の学問と大きく異なる点です。

学びたくなる同志社の商学



商学、経済、経営...経済系学部は数々あれど、同志社の商学はひと味違います。身近なことから世界のことまで、理論・知識から実務・スキルまで、仕事にも暮らしにも役立つエキサイティングな学びがいっぱいです。

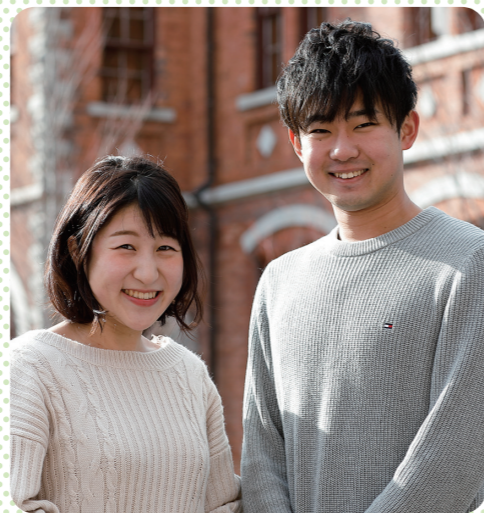
学系 商業・金融

企業の課題を解決する提案を行い 共同での商品開発も行う

STUDENT VOICE 早川 ゆきの さん(3年次生・左)、今村 勇斗 さん(3年次生・右)

早川 — 高橋ゼミの特徴は、企業が抱える現実の課題に対して、自分たちなりの具体的な解決策を提案する活動をしていることです。提案を受け入れていただき、共同で商品開発などをすることもあります。今は、こだわりの商品を扱う小売企業と共同でレトルトカレーを開発しています。こんな商品を作りたいという思いと、企業としての実現可能性の妥協点を見つけ、長い時間をかけて商品開発するのは本当に難しいものです。今では商品やCMに対し、メーカー側、消費者側の両方の視点から見られるようになり、視野を広げることができました。卒業後もメーカーでマーケティングに関わる仕事がしたいと考えています。

今村 — 高校生の時からマーケティングや消費者行動学に興味があり、商品開発がしたいと考えてこのゼミに入りました。初めての企業への提案は受け入れてもらうことができず、提案内容の裏付けの大切さ、プレゼン時の話の一貫性の大切さを痛感。この経験をバネに商品化までこぎつけたのが、同志社大学の卒業生を主なターゲットにした「京都 三味一体カレー」です。赤レンガを想起させる3種類の赤い京都産食材は、生産者の方へ直接提供をお願いに行くなど、企画から製造まで商品開発のすべてに関わり、授業ではできない貴重な経験ができました。皆で切磋琢磨しながら頑張れる、良い環境だったと思います。



学系 企業・経営

最新のテクノロジーがどう普及するのか 企業と情報共有しながら考える

STUDENT VOICE 小野 綾花 さん(3年次生)

所属する太田原ゼミは、最新のテクノロジーが私たちの生活にどう普及していくかを考えるゼミです。私たちの班は、最新技術を農業に取り入れて企業的な経営を行う「スマート農業」をテーマに研究活動を行っています。スマート農業を実践する農家へヒアリングをしたり、農業機械メーカーのフォーラムで話を聴いたり、フィールドワーク中心の取り組みです。大手農業機械メーカーを訪れて研究内容を発表する機会もありました。企業にスマート農家の実態を伝え、フィードバックを受けることもでき、とても貴重な経験でした。チーム内はもちろん、学外の人と話をする機会も多いので、考えていることを言語化する力を大きく伸ばすことができた

と感じています。積極的に留学をすすめる先生の影響もあるのか、ゼミ生の約半数に留学などの海外経験があり、多様な物の見方にふれられるのもこのゼミの魅力です。私も早稲田大学へ半年間留学していましたが、先生のご配慮のおかげで、ゼミ活動のハンディになるようなことはありませんでした。卒業後の進路として、今はIT系の企業に興味を持っています。世の中に存在しなかったサービスをいかに生活の中に浸透させていくのか、ゼミの研究と似ていると感じるからです。新しいサービスの企画や提供に関われればと思っています。



学系 簿記・会計

AIと人間が共存する社会の問題を考え 必要な制度を考える

STUDENT VOICE 西 悠作 さん(3年次生・左)、島津 由佳 さん(3年次生・右)

西 — AIが人間の職を奪うと言われていくことに不安を持っていたので、AIと人間の将来を考えるこのゼミを選びました。「世界一のゼミ」を自分で作っていくという意欲のある人が集まっています。AIの普及は人間の行動をどう変え、人間関係や組織全体にどんな影響を与えるのかがテーマです。行動経済学会のポスターセッションでは、厳しい質問を受けたことで、よりモチベーションが上がりました。私はこれまで、勉強を受験などの目的達成の手段としか考えていませんでした。でも、ゼミでの研究には限界がありません。知らないことを発見する楽しさ、勉強の楽しさを、今、感じています。

島津 — 私たちの代から田口ゼミのテーマはAIになりました。AIが普及した時、人間社会との間にどのような問題が起こるのか、どのような制度が必要なのかなどを考えています。先生が学生の主体的な行動を尊重してくださるので、自分で考え、行動する力が培われます。データ分析に必要なと感じた統計学の手法も、学生が自主的に集まって勉強しています。学会での発表も行っています。今は人工知能学会への論文提出に向けて研究を進めているところです。文系理系さまざまな分野の先生や他大学の学生の存在から刺激を受けています。英語の論文を書き、海外の学会で発表することが目標です。



同志社大学商学部を めざすみなさんへ

商学部で学んでいる在学生からみなさんへの応援メッセージ。
自身の学生生活で実感した「商学部の魅力」を交えて、生の声を届けます。

学系
貿易・国際

アジアの経済成長から 世界経済を読み解く

STUDENT VOICE 今川菜緒 さん(4年次生)

遠藤先生のゼミで、私は成長めざましいアジア経済を学びました。世界経済におけるアジア地域の重要性は、グローバル化の進展とも関わって、近年になればなるほど高まっています。アジア経済を深く追求することは、世界経済がどのような状況になっているかを知る手がかりになると思います。

私はASEAN、特にタイの経済について研究しました。日本の大手自動車メーカーがタイに進出した例に注目し、どうしてタイなのか、どのように現地の産業を活性化させているのか、どのような生産ネットワークを構築しているのかなどを分析しました。ゼミで発表し、議論することで別の視点も得られるので、さらに深い考察ができるようになりました。

ゼミでの学びを通じて、常にアジアに関

心を持って新しい情報に接するようになりました。就職活動で「今朝の新聞で気になった記事は?」と聞かれた時も、アジアの国について話すと興味深く聞いていただき、深い質問にも対応することができました。

アナウンサーになりたいという夢があったので、人前になる経験として、3年次に「ミスキャンパス同志社」にエントリーし、準グランプリを受賞しました。期間中は、関連活動やSNSなどを通して私自身について発信しました。言葉で自分を表現することの難しさを痛感させられましたが、とても良い経験だったと感謝しています。

地方局のアナウンサーになることが決まった今、言葉によって誰かの心に残り、一歩前に進む力を与えられるようなひとになりたいと考えています。



学系
経済・歴史

商品の歴史を学ぶことで 社会の変化、意識の変化を考える

STUDENT VOICE 坂本 彩乃 さん(3年次生)

卒業後、総合会社への就職を希望しているのですが、さまざまな商品の歴史を学ぶことに魅力を感じ、川崎ゼミを選びました。一つの商品が世に出ることによって生活や価値観に大きな影響を与えることがあります。日本で広がっても海外では広がらなかった商品もあります。商品の歴史を学ぶことは、社会、生活、文化など、幅広い学びにつながるのです。

私が研究した商品の一つが冷凍食品です。世の中に登場した当初は、不信感を抱く人が多く、あまり利用されませんでした。女性が社会進出とともに大きく普及し、「時短」や「一品加える」を実現する商品としても定着しました。今は高級志向の商品

も増えつつあります。社会の変化、意識の変化によって、利用の仕方が変わってきた商品だといえると思います。

仲の良いゼミですが、毎年行われる他大学とのディベート大会では優勝を目指して熱くなるなど、オンオフの切り替えがはっきりしているのも良いところだと思います。ゼミを通して、1つの商品をさまざまな視点から見る姿勢、人の発表を聴いて質問する力が身につきました。副ゼミ長を務めたことで、工夫する力、企画する力もついたと感じています。

志望する総合会社の魅力は仕事の幅が広いことです。就職できたら色々な国でバリバリ働きたいと考えています。



交換留学で語学力と広い視野を手に入れました。
いい意味で自由な学部だと思います。

北村 湊人 さん(3年次生)

将来、国際的な仕事につきたいので、交換留学を希望していた私は、留学先が豊富な同志社大学、その中で幅広い学びの選択肢がある商学部を選びました。2年次の秋からドイツのデュッセルドルフ大学に交換留学。ドイツ語や英語で専門分野の授業を受けて語学力が上がったのはもちろん、国際的な価値観にふれて視野を広げることもできました。人数が多く、さまざまな人に出会える商学部は、良い意味で自由な学部だと思います。



授業を通して、専門知識だけでなく
人文学的な教養も身につけることができました。

パク ジョンヒョク さん(3年次生)

マーケティングに興味があり、自分でも勉強をしていたので、学系はあえてそれ以外の分野を選び、広く知識を身につけた上で、マーケティング専門の高橋ゼミに入りました。学びの中心となる企業とのコラボでは失敗と反省の連続。でも少しずつ前進している実感があります。素晴らしい先生方の授業によって、本が大好きになったり、人や教育とは何かについて考えさせられたり、商学部で学びながら、人文学的な教養も身につけることができました。



勉強とラグビーを両立できたのは
ゼミの先生や仲間の支えがあったから。

山口 修平 さん(4年次生)

ゼミでは門前町の観光客誘致についてチームで研究。実際に門前町へ行き、お店の方や行政の方へヒアリングするなどのフィールドワークを行い、チームとして論文にまとめ上げるのがとても楽しかったです。ラグビー部で主将を務めていましたが、ゼミの先生や仲間に支えられ、勉強と両立することができました。練習場は京田辺キャンパスですが、今出川キャンパスの雰囲気と「人」が好きなので、商学部で学べて本当に良かったと思っています。



商学部生に
聞きました



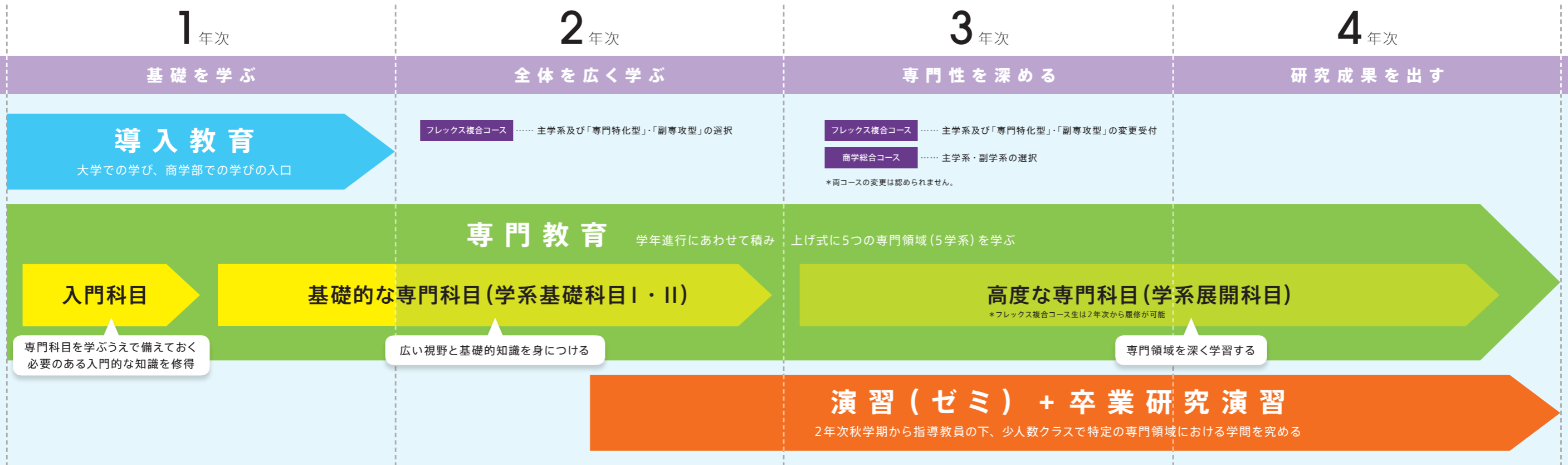
同志社大学商学部に入學して
どう感じていますか?



満足している **89.0%**

〈入門→基礎→展開〉からなる4年間のカリキュラム

まず、基礎的な知識の習得を図った上で積み上げ式に、段階をおって専門領域を学ぶことができます。



導入教育

PICK UP CURRICULUM

大学での学びにスムーズに順応できるように、少人数クラスによる導入教育に力を入れています。入学してすぐに受講する「アカデミック・リテラシー」では、「調べる」「書く」「発表する」「議論する」という基本的な学習技能の修得を図ります。さらに、1年次秋に受講する「ビジネス・トピックス」では、商学部の専門分野やビジネスの現場への関心を掘り起こします。

アカデミック・リテラシー

文献検索や資料収集の方法、レポートや論文の書き方、プレゼンテーションや討論の方法などを学びます。

ビジネス・トピックス

企業や製造現場の見学、映像資料を活用した討論、実務家による講演といった方法が採り入れられています。



専門教育

PICK UP CURRICULUM

〈入門→基礎→展開〉という積み上げ式の学習によって、ビジネス全般に関する広い視野と専門領域の深い知識を修得していきます。大学教員による通常の講義ばかりでなく、ビジネスの最前線で活躍する実務家による講義(実践科目)も用意されています。

マーケティング論

「商業・金融学系」では、マーケティングをはじめとして、流通や物流、金融の理論や制度などが学べます。

経営戦略論

「企業・経営学系」では、企業の競争優位をいかに形づくるかといった経営学の根幹を学ぶことができます。



専門外国語科目

外国語を活用して専門領域に関する知識を深め、あわせて外国語の修得をめざす科目です。

実務家による講義

「実践科目」は商社や金融機関などビジネスの第一線で活躍する実務家を招いて講義をしていただく授業です。



演習(ゼミ)

PICK UP CURRICULUM

ゼミは商学部における専門研究の中心となるばかりでなく、多くの学生にとって学生生活の中心となる重要なものです。ゼミごとの研究活動以外にも、ゼミ対抗ソフトボール大会・ゼミ対抗女子ボーリング大会等、さまざまなイベントが実施されています。

演習・卒業研究演習

指導教員を囲む少人数クラスで、専門領域の研究を深めます。

ボーリング大会/ソフトボール大会

ゼミを主体としたさまざまなイベントで学生生活を充実させます。



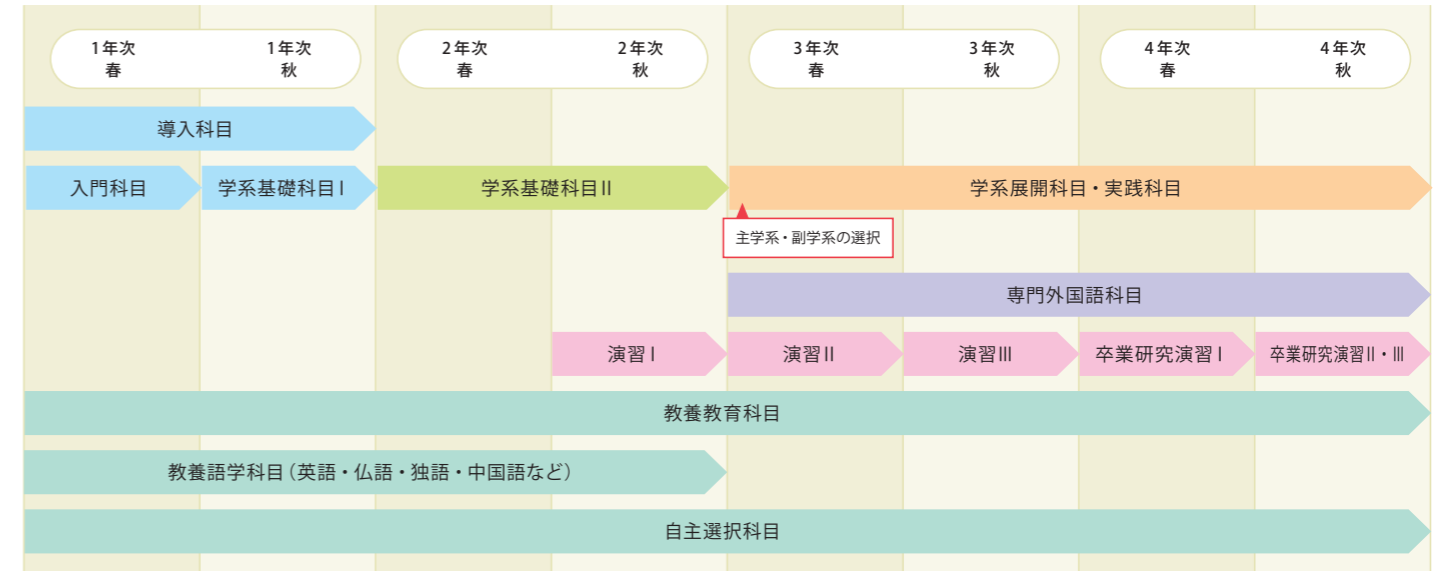
商学部カリキュラムの概要

「入門」から「基礎」、そして「展開」という積み上げ式の学習によって、ビジネス全般に関する広い視野と専門領域の深い知識を修得していきます。

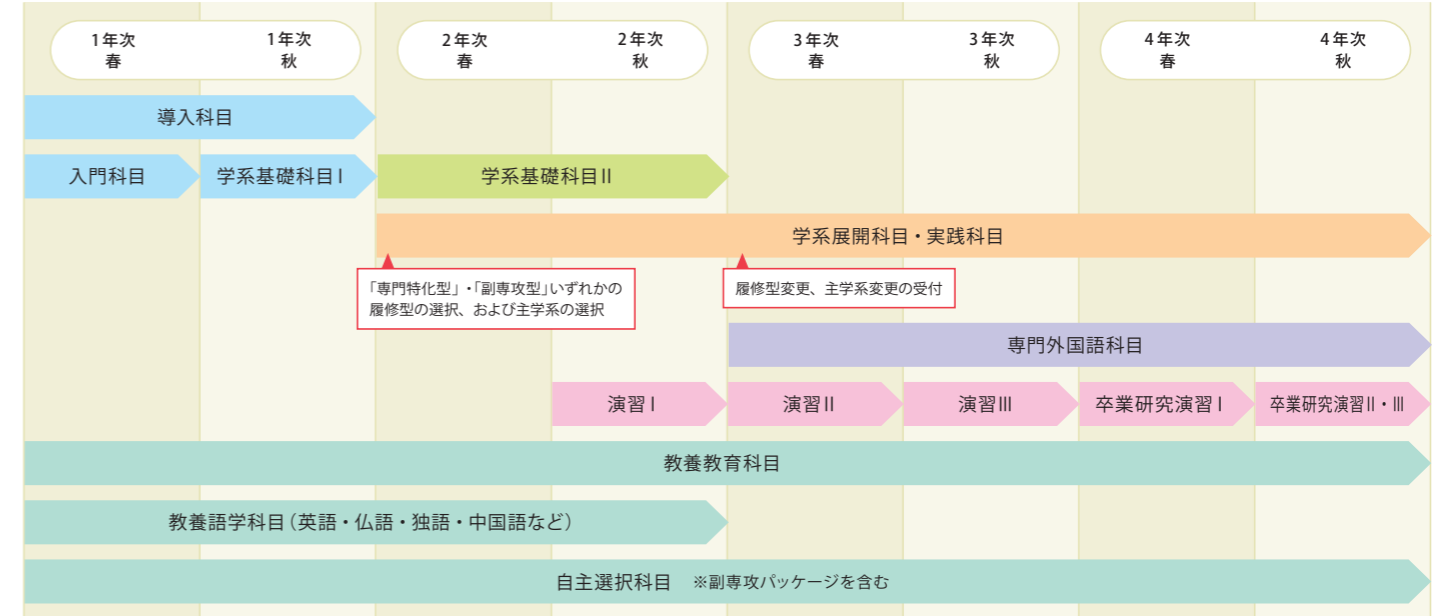
■ 商学部カリキュラムの概要 (5学系)

商 学 部 専 門 科 目	導入科目	アカデミック・リテラシーⅠ・Ⅱ		ビジネス・トピックス		
	入門科目	簿記学Ⅰ・Ⅱ		基本統計学	現代ビジネス	
	学系基礎科目Ⅰ	経済学	商業学	国際経済学	経営学	会計学
	学系基礎科目Ⅱ	ミクロ経済学 マクロ経済学 計量経済学 商業史	流通論 マーケティング論 金融論 証券論	貿易論 貿易業務論 国際金融論 国際商取引論	経営管理論 経営組織論 経営戦略論 経営史	簿記学Ⅲ 工業簿記Ⅰ 財務会計論 監査論
	学系展開科目	経済変動論 市場と人間 経済統計分析 戦略の経済学 日本商業史 現代商業史 オペレーションズ・リサーチ	商品学 観光論 交通論 物流システム論 消費者行動論 マーケティング・リサーチ 貨幣論 銀行論 金融政策論 ファイナンス論 企業金融論 保険論 リスクマネジメント 金融システム論	世界経済論 現代国際金融 経済統合論 欧米経済論 発展途上国経済論 アジア経済論 国際ビジネス・コミュニケーション論 国際電子商取引論 貿易契約論 貿易外国語(英語) 貿易外国語(中国語)	労務管理論 生産管理論 現代企業論 ソーシャル・マネジメント論 中小企業論 経営分析論 経営統計論 ビジネス・リサーチ 国際経営論 技術経営論 事業システム論 コーポレート・ガバナンス論	簿記学Ⅳ 工業簿記Ⅱ 財務諸表論 制度会計論 情報会計論 管理会計論 原価計算論 税務会計論 国際会計論 財務諸表監査 財務諸表分析
	実践科目	商業簿記「日商1級」 工業簿記「日商1級」 会計学「日商1級」 原価計算「日商1級」 中小企業診断Ⅰ・Ⅱ ファイナンシャル・プランナー基礎・応用1・応用2・実践 国際ビジネス 海外ビジネスⅡ など				
	専門外国語科目	外国書講読(英語) 外国書講読(他) Business English 専門外国語特講				
	演習科目	演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅰ	演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅱ	演習Ⅲ 卒業研究演習Ⅲ		
	隣接科目	社会・経済・法律科目				
	教養科目	全学共通教養科目(一般教養・語学・体育)				
自主選択科目	他学部設置科目、大学コンソーシアム京都単位互換科目、同志社女子大学単位互換科目、副専攻パッケージなど					

■ 商学総合コース 標準的年次別履修例



■ フレックス複合コース 標準的年次別履修例



	商学総合コース	フレックス複合コース
学系の選択	3年次に主学系・副学系を選択	2年次に主学系及び専門特化型か副専攻型かの履修型を選択(3年次に変更が可能)
専門科目	80単位以上の修得が必要	70単位以上の修得が必要
外国語科目	2言語16単位以上の修得が必要	1言語8単位以上の修得が必要
自主選択科目	18単位まで卒業単位として認定	36単位まで卒業単位として認定

※副専攻パッケージについて

2年次にフレックス複合コース生で副専攻型を選択した場合は、パッケージ(教職基礎・社会調査・スポーツマネジメント・現代メディア・行政・国際専修)の中から一つ選択し、10単位以上を履修する必要があります。いずれのパッケージについても、20単位以上修得した場合は、完修したものと認め、認定証を交付します。

*履修する単位の条件が異なることで、それぞれのコースの特性を活かした学修を行います。

＼教えて!!「商学総合コース」と「フレックス複合コース」の違い／

- Q. 一般入試での両コースの合格最低点は?
- A. 入試統計のページで確認できます。
https://www.doshisha.ac.jp/admissions_undergrad/new/statistics/statistics/statistics.html
- Q. フレックス複合コースの「専門特化型」は資格取得を目指す人だけなの?
- A. 専門分野ややりたいことに集中して勉強しやすいのが特徴です。資格以外にも様々な目標を持った人が、時間と労力を集中させることができます。
- Q. 他コースの人とはいっしょに授業を受けられないの?
- A. カリキュラム(卒業要件)が一部異なりますが、それ以外は授業もゼミも基本的には同じです。



そのほか、もっと知りたい方は、こちらをご覧ください。
https://com.doshisha.ac.jp/entrance_exam/entrance_exam.html

資格取得

将来の目標や就職へ向けて

商学部では各種資格試験の支援体制として、課外講座で各種資格試験講座を開講しています。また、商学部正規科目のなかに各種資格に関連する多くの科目を組み入れています。また、各種資格の仕事内容、試験制度、勉強方法を紹介するガイダンスも開催しています。あなたも資格取得にチャレンジしてみませんか？

課外講座なので単位は取得できませんが、キャンパス内いながら各資格のプロフェッショナルから教わるのが魅力です。

正規科目なので登録履修し合格すれば単位が取得できます。

目指せる資格	商学部資格試験講座	商学部正規科目	
会計系 公認会計士 <small>法定監査を担う国家資格</small> 税理士 <small>税務の専門家としての国家資格</small> 日商簿記検定 <small>商学部に関連する資格の基礎となる資格 商学部では日商簿記検定試験の団体申込を行っています。詳細は商学部掲示板でお知らせします。</small>	公認会計士入門講座 税理士入門講座 日商簿記検定対策講座(3級商業) 日商簿記検定対策講座(2級商業) 日商簿記検定対策講座(2級工業)	<ul style="list-style-type: none"> 簿記学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 商業簿記「日商1級」 工業簿記「日商1級」 会計学「日商1級」 原価計算「日商1級」 現代における会計の役割 など 	
	ファイナンシャル・プランナー <small>顧客の資産運用のプランを提案する専門家</small> 中小企業診断士 <small>中小企業の経営コンサルタント</small>	3級FP技能士資格試験対策講座 中小企業診断士入門講座	<ul style="list-style-type: none"> ファイナンシャル・プランナー基礎 ファイナンシャル・プランナー応用1 ファイナンシャル・プランナー応用2 ファイナンシャル・プランナー実践 中小企業診断Ⅰ 中小企業診断Ⅱ
	証券アナリスト <small>投資のプロフェッショナルとしての民間資格</small> TOEIC® L&Rテスト <small>英語運用能力を測定・証明するテスト</small>	TOEIC® L&Rテスト対策講座 ● 入門講座 ● TOEIC® L&Rテスト600点講座 ● TOEIC® L&Rテスト730点講座	<ul style="list-style-type: none"> 資本市場の役割と証券投資 証券アナリスト入門 など Business Presentations in English 外国書講読 Business English 専門外国語特講 など <small>TOEIC®L&Rテストなどのスコアで単位認定する制度もあります。詳しくは商学部登録要領を参照してください。</small>

・「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形です。
 ・TOEICはエデュケーション・テストング・サービス(ETS)の登録商標です。



例年、受講生から高い満足度を得ています！

受講生からのコメントを一部ご紹介します

「ほんやりとしていた意識を改善し、意思を固められました。この講座を受けて良かったです。」
 「実践的な講義を受けることができ本当に身につけられました。毎回、非常に分かりやすい講義を本当にありがとうございました。」
 「毎回の授業で楽しく分かりやすく講義して下さいました。頑張ります。」
 「ポイントを絞って指導して下さったのが、すごく良かったです。」
 「名前しか知らなかった資格について、数回かつ安い受講料で学びを深めることができ、とてもよかったです。」
 「専門の先生が教えてくださるので、実例などもあり、おもしろかったし理解しやすかったです。」

■ 講座は全般的にいかがでしたか? 4.1
 ■ 講座内容はいかがでしたか? 4.1
 ■ 担当講師はいかがでしたか? 4.2

2022年度資格試験講座 アンケート結果より(春学期・秋学期 全講座平均値)

留学制度

海外での「学び」のすすめ

派遣留学生制度

商学部では、独自に海外の大学と提携を結び学生の派遣を行っています。2023年4月現在、商学部は慶星大学商経学部(韓国・釜山)、延世大学経営学部(韓国・ソウル)、マレーシア科学大学経営学部(マレーシア・ペナン)、国立高雄大学管理学部(台湾・高雄)、チュラロンコン大学経済学部(タイ・バンコク)、ベルリン自由大学経営・経済学部(ドイツ・ベルリン)の6大学と学生交換協定を結んでいます。これら以外にも、同志社大学では派遣留学制度が充実していますので、ぜひ在学中に利用してください。商学部所管の留学制度は商学部事務室にお尋ねください。なお、大学所管の派遣留学制度は国際課が担当窓口になっています。



海外研修プログラム

商学部では2014年度より海外研修プログラム科目(5類実践科目)として「海外ビジネスII」(2年次生以上対象)を設置しています。この科目では、実際に海外に行って現地の日系企業や商業施設などを訪れたり、実際に働いている現地スタッフに話を聞いたりすることによって、海外ビジネスおよび日本企業の海外進出の現状について学びます。



奨学金制度

努力するあなたを応援!

■ 同志社大学育英奨学金

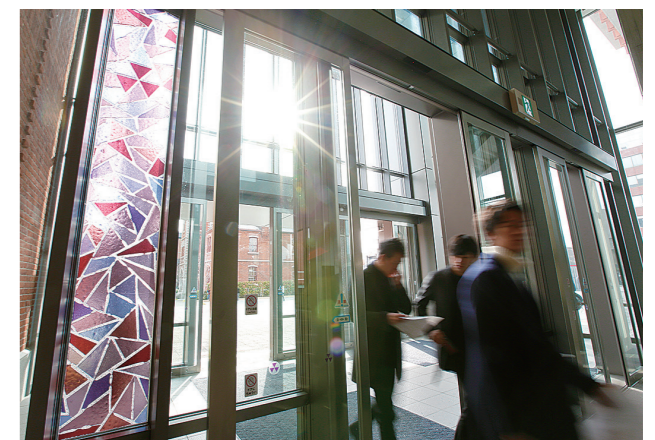
同志社大学では、勉学意欲旺盛で、学術、文化、スポーツ活動等において優れた成果をあげた学生に対して奨学金(1人30万円)を給付する制度を設けています。

商学部では

- Ⅰ. 学業成績優秀者
- Ⅱ. 同志社大学大学院商学研究科進学予定者
- Ⅲ. 資格試験合格者
- Ⅳ. 文化、芸術、スポーツ活動優秀者

の専攻区分にしたがって育英奨学金奨学生を選考、推薦しています。

この他にも、日本学生支援機構、同志社大学、民間・地方公共団体などからの奨学金制度もあります。



就職実績 : 社会から高い評価と高就職率

同志社大学の卒業生は各企業で高い評価を得ており、就職難といわれる中でも、就職活動において多くの企業から内定を得ています。商学部卒業生は幅広い業種から求められており、数多くの商学部卒業生が企業の第一線で活躍しています。就職以外にも大学院への進学や公認会計士、税理士といった資格試験への挑戦、あるいは海外留学などの形で、目標を実現する卒業生もいます。自分自身の関心や価値観を大切にしながら進路選択をしてください。進路選択についてはキャリアセンター（寒梅館2階）が相談窓口として設置されています。

■ 2021年度（2021年9月、2022年3月卒業）進路状況

	全学部		商学部	
	人数	%	人数	%
就職	4,659	74.5	777	86.4
就職（無期雇用労働者）	4,563	73.0	766	85.2
就職（有期雇用労働者）	28	0.4	1	0.1
自営・家業・起業	68	1.1	10	1.1
進学	823	13.2	14	1.6
うち本学大学院進学	618	9.9	5	0.6
うち他大学大学院進学	205	3.3	9	1.0
その他進学・留学	91	1.5	11	1.2
資格試験、卒業後に就職活動を行う（公務員・教員受験含む）	301	4.8	50	5.6
大学院等への進学準備	56	0.9	7	0.8
その他	151	2.4	17	1.9
内定無求職中	87	1.4	4	0.4
最終進路未報告	83	1.3	19	2.1
合計	6,251		899	

※「就職（無期雇用労働者）」は、正規雇用就職者、無期雇用就職者、定職（無期雇用）のある者を計上している。
 ※「就職（有期雇用労働者）」は、雇用期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者を計上している。雇用期間が1年未満の者は、「その他」に計上している。

■ 業種別就職状況

商学部・男子

	2021年度		2020年度		2019年度		2018年度	
メーカー	107名	25.8%	94名	25.0%	133名	31.6%	124名	30.4%
流通	44名	10.6%	47名	12.5%	51名	12.1%	46名	11.3%
金融	79名	19.1%	67名	17.8%	66名	15.7%	68名	16.7%
マスコミ・情報通信	61名	14.7%	54名	14.4%	56名	13.3%	39名	9.6%
教育・学習支援	2名	0.5%	4名	1.1%	1名	0.2%	6名	1.5%
サービス	71名	17.1%	70名	18.6%	71名	16.9%	72名	17.6%
公共・その他	50名	12.1%	40名	10.6%	43名	10.2%	53名	13.0%
合計	414名		376名		421名		408名	

商学部・女子

	2021年度		2020年度		2019年度		2018年度	
メーカー	79名	22.9%	66名	19.4%	71名	19.4%	90名	24.9%
流通	41名	11.9%	31名	9.1%	46名	12.5%	39名	10.8%
金融	74名	21.4%	103名	30.2%	94名	25.6%	101名	27.9%
マスコミ・情報通信	36名	10.4%	35名	10.3%	45名	12.3%	30名	8.3%
教育・学習支援	6名	1.7%	4名	1.2%	3名	0.8%	3名	0.8%
サービス	62名	18.0%	52名	15.2%	65名	17.7%	54名	14.9%
公共・その他	47名	13.6%	50名	14.7%	43名	11.7%	45名	12.4%
合計	345名		341名		367名		362名	

■ 商学部就職者数上位10社推移

2021年度

順位	就職先	合計
1	株式会社京都銀行	11名
2	株式会社サイバーエージェント 株式会社三井住友銀行	7名
4	岡三証券株式会社 日本電気株式会社 楽天グループ株式会社	6名
7	株式会社オービック 住友生命保険相互会社 三井住友信託銀行株式会社 野村證券株式会社	5名

2020年度

順位	就職先	合計
1	日本生命保険	10名
2	みずほフィナンシャルグループ	9名
3	住友生命保険	8名
4	京都銀行 明治安田生命保険	7名
6	東京海上日動火災保険 南都銀行 西日本電信電話	6名
9	楽天	5名
10	麒麟ホールディングス クイック 三井住友信託銀行 有限責任監査法人トーマツ 西日本シティ銀行 日本アイ・ピー・エム 船井総合研究所 三井住友銀行 ゆうちょ銀行	4名

2019年度

順位	就職先	合計
1	三井住友銀行	10名
2	みずほフィナンシャルグループ	8名
3	滋賀銀行 三井住友信託銀行 日本生命保険	7名
6	東京海上日動火災保険 第一生命保険	6名
8	キーエンス サイバーエージェント 住友生命保険 西日本電信電話 楽天 りそなグループ	5名

■ 規模別就職状況

	商学部			
	男子		女子	
	人数	%	人数	%
巨大企業	96	23.2	79	22.9
大企業A	140	33.8	107	31.0
大企業B	37	8.9	44	12.8
中企業	79	19.1	41	11.9
小企業	43	10.4	46	13.3
その他	19	4.6	28	8.1
総計	414		345	

注：巨大企業＝従業員5,000人以上
 大企業A＝1,000人以上
 大企業B＝500人以上
 中企業＝100人以上
 小企業＝100人未満

※各種学校、非営利団体、宗教法人、医療・保健、介護事業、公務員などの業種は全てその他に含まれます。

Alumni Voice

文武両道で身につけた
体力、精神力と
スケジューリング力が
仕事にも役立っています

新家光貴 さん
 (2018年卒、2014年度生)
 サントリー酒類株式会社
 東海支店業務用営業



営業職

飲食店様に自社商品の提案をしたり、売上向上につながる経営アドバイスをしたりしています。大学では体育会硬式野球部に所属していました。練習後に授業を受けるのはハードでしたが、内容が面白いので意欲的に学ぶことができました。体育会で身につけた体力や精神力と、文武両道を実現するためのスケジューリング力が今の仕事にも大きく役立っています。商学部は、社会で役立つスキルや知識をたくさん学べる学部であると同時に、私のように自分のやりたいことと両立できる学部でもあると思います。

公認会計士



難関資格への挑戦も
部活動との両立も可能
選択肢の多さが
商学部の魅力です

関はるか さん
 (2017年卒、2013年度生)

有限責任監査法人トーマツ
 監査事業部 大阪事務所

上場企業や金融機関など複数の企業の監査を行っています。年齢に関係なく一人のプロフェッショナルとして判断する場面が多いことが、この仕事の難しさであり、やりがいでもあります。大学では2回生までサークルにも所属し、一般的な科目を履修。その後は専門的な科目を履修しながら会計士試験の勉強に集中し、在学中に合格できました。商学部の魅力はさまざまな選択肢があることだと思います。在学中に資格取得を目指すことも、体育会の部活動と学業を両立させることも可能なカリキュラムだからです。

ビジネスの
多彩な分野で
活躍する
卒業生

苦しくても助け合い
最後までやり遂げる
ゼミでの経験を
今も大切にしています

客室乗務員

市川栄里子 さん
 (2013年卒、2009年度生)

全日本空輸株式会社
 客室乗務職



客室乗務員として、国内線、国際線に乗務しています。お客様の様子から私にできることを考えて行動した結果、お客様に「乗って良かった」と思ってもらえた時、特に嬉しさを感じます。大学では、多くの人と出会い、多様な価値観を学ぶことができました。ゼミでイベントを企画して思い切り遊んだこと、電子商取引について研究し、企業へお話を聞きにいったことなどが印象に残っています。苦しい時も助け合い、あきらめずに研究をやり遂げた経験は、今、チームで仕事をする上でとても大切にしています。

大学院 商学研究科

国際化、情報化の進展は、従来の経済システムの急速な変容を促し、新たなビジネスモデルを生み出しています。本研究科では、激変する不確実な産業社会を、高度な専門的知識をもって精緻に分析し、変化する経済環境から生じる諸問題に対処していくことができる人材の育成を目指しています。

本研究科には、博士課程の前期課程と後期課程が設置されています。

学部での教育課程で「ビジネスについての基礎的な専門知識を持つとともに幅広い見識を持った」学生を育成していますが、さらに自らの興味を抱いたテーマについて深く研究したいという学生の要求に応じてきました。

進路・就職

■ 高度専門職への道

- ◎税理士、公認会計士を目指す場合には、大学院進学も1つの方法です。
- ・税理士の場合、科目合格を前提として修士論文を書いて修了すれば科目免除が受けられます。
- ・公認会計士の場合、科目免除の規定はありませんが、会計関係の講義や修士論文の作成に取り組む中で会計関連の高度な専門的知識の習得が可能であり、試験にとっても有益です。在学中に公認会計士試験に合格する人もいます。
- ◎高度な専門知識を身につけた上で民間企業に就職したり、民間のシンクタンク(民間の研究機関)、民間企業での研究職(金融機関等)へ就職する人も数多くいます。

■ 研究者への道

- ◎大学院博士前期課程2年間と後期課程3年間の合計5年間の課程を修了することにより、大学、短期大学等の教員として研究者をめざす道もあります。

本研究科は創設以来、これまで多くの研究者を大学教員として輩出してきました。もちろん、高度な学習、研究のレベルは要求されますが、研究に関心のある人は進路として考えてもよいのではないのでしょうか。

特別入学制度 (推薦制度)

一定の成績以上を修めた同志社大学商学部卒業生および卒業見込者に適用されます(試験は9月と2月に実施)。

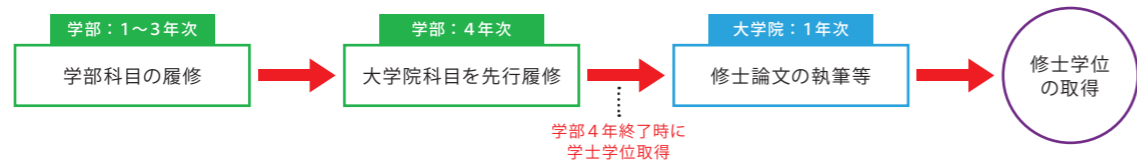
また、学部3年時点で大学院を受験できる飛び級制度や早期卒業制度もあります。

5年一貫教育プログラム

本プログラムは、学部4年次に生まれる時間的余裕を大学院へのステップとして有効に活用することで、本研究科をめざす勉学意欲の高い学部生が大学院へ進学しやすくなる学修環境を提供するものです。学部から大学院へと継続的に指導を受けることで、幅広い視野と深い専門知識を修得し、国内外の企業・産業が直面する諸課題を理解・分析できるような幅広い知見を得ることを通じて、高度な専門知識を必要とする職業人の養成を目指します。

さらにより深い研究を目指す学生に対しては、研究基礎科目、学部・大学院の演習科目の連携などを通じて、より深い学識と専門的研究能力を身につけ、修士学位取得後、研究者を目指して博士後期課程へ進学するという選択肢を広げることのできる制度です。

募集・選考方法の詳細については、商学部・商学研究科事務室へお問合せください。



Faculty List

教員紹介 : 深い専門性と豊かな経験で学生をサポート

(アルファベット順)

(2023年4月1日現在)

経済・歴史学系

財閥史、商品史

川満 直樹
Kawamitsu Naoki
商業史



市場の社会経済学的研究

小島 秀信
Kojima Hidenobu
市場と人間
ポリティカル・エコノミー



計量経済学、時系列分析

牧 大樹
Maki Daiki
基本統計学
計量経済学
経済統計分析



経済指標・社会指標に関する研究

溝渕 英之
Mizobuchi Hideyuki
基本統計学
経済学
マクロ経済学
経済変動論



地理情報システムを援用した都市集積の研究

内藤 徹
Naito Toru
経済学
ミクロ経済学
戦略の経済学



ファイナンス

辻村 元男
Tsujimura Motoh
経営統計分析
オペレーションズ・リサーチ



産業組織の実証分析

上田 雅弘
Ueda Masahiro
計量経済学
多変量解析
産業組織論



近代日本の看護婦労働の歴史

山下 麻衣
Yamashita Mai
日本商業史
企業者史
現代商業史



商業・金融学系

マーケティング

崔 容熏
Choi Yonghoon
流通論



国際金融論、国際マクロ経済学

五百旗頭 真吾
Iokibe Shingo
基本統計学
証券論
貨幣論



マーケティング戦略

石田 大典
Ishida Daisuke
マーケティング論



株式の自動取引と市場の安定性

久納 誠矢
Kuno Seiya
企業金融論
ファイナンス論



銀行論・金融論

丸茂 俊彦
Marumo Toshibiko
銀行論
金融システム論



観光に関わる消費者行動の分析

西村 幸子
Nishimura Sachiko
観光論
旅行産業論



商品価値情報の効果的な伝達方法

大原 悟務
Obara Satomu
現代ビジネス
商業学
商品学



個人の年金加入行動に関する研究

佐々木 一郎
Sasaki Ichiro
保険論
年金論



消費者行動にもとづくマーケティング

高橋 広行
Takahashi Hiroyuki
消費者行動論
マーケティング・リサーチ



金融的要因と経済活動

植田 宏文

Ueda Hirofumi
金融論
金融政策論



貿易・国際学系

グローバル化とアジア経済

遠藤 敏幸

Endo Toshiyuki
国際経済学
韓国経済論
発展途上国経済論



日本とアメリカの経済と経済政策

服部 茂幸

Hattori Shigeyuki
国際金融論
現代国際金融



国際貿易の古典理論

久松 太郎

Hisamatsu Taro
国際経済学
貿易論
貿易政策論



eコマースの普及

長沼 健

Naganuma Ken
現代ビジネス
国際商取引論
国際電子商取引論



東アジアの経済発展

西川 純平

Nishikawa Jumpei
国際経済学
国際開発論
アジア経済論



グローバルビジネス
コミュニケーション研究

佐藤 研一

Sato Kenichi
国際ビジネス・コミュニケーション論
貿易外国語(英)



貿易・貨幣・権力から読み解く世界経済

田淵 太一

Tabuchi Taichi
貿易論
世界経済論



国際商取引法規範及び国際ビジネス紛争解決

吉川 英一郎

Yoshikawa Eiichiro
貿易業務論
貿易契約論



企業・経営学系

産業研究、造船業・海運業

麻生 潤

Aso Jun
経営分析論
産業分析論



経営組織論・組織行動論

福本 俊樹

Fukamoto Toshiki
現代ビジネス
経営学
経営組織論



コーポレート・ガバナンス、企業と社会

今西 宏次

Imanishi Koji
経営管理論
コーポレート・ガバナンス論



事業システムと競争優位

中道 一心

Nakamichi Kazushi
経営戦略論
事業システム論



技術経営

太田原 準

Otabara Jun
生産管理論
技術経営論



組織の社会的分析・社会調査の方法論

佐藤 郁哉

Sato Ikuya
経営組織論
ビジネス・リサーチ



中小企業とアントレプレナーシップ

関 智宏

Seki Tomohiro
現代企業論
中小企業論
中小企業経営論



行動変容マネジメント、組織行動

瓜生原 葉子

Uryubara Yoko
経営学
ソーシャル・マネジメント論



サービス産業における人材活用の制度と構造

谷本 啓

Tanimoto Akira
労務管理論
経営管理論



経営史

山内 雄気

Yamauchi Yuki
経営学
経営史



経営戦略

富田 健司

Tomita Kenji
経営学
経営統計論



簿記・会計学系

会計基準の国際的調和化に関する研究

稲見 亨

Inami Toru
財務会計論
国際会計論



会計情報を利用した経営

河合 隆治

Kawai Takabaru
戦略管理会計
原価計算論



グローバル化と管理会計

中川 優

Nakagawa Masaru
管理会計論
国際管理会計



財務会計情報に基づく企業価値評価

櫻井 貴憲

Sakurai Takanori
簿記学I
簿記学II
情報会計論



財務報告制度の国際比較 - 会計と文化 -

佐藤 誠二

Sato Seiji
会計学
財務会計論
財務諸表論
税務会計論



現代の会計

志賀 理

Shiga Osamu
会計学
現代会計論



行動経済学・実験会計学

田口 聡志

Taguchi Satoshi
制度会計論
行動会計学



会計制度と社会的厚生

山本 達司

Yamamoto Tatsushi
簿記学I
簿記学II
簿記学III
簿記学IV
財務諸表分析
分析会計論



教員(有期)

陳 燕双

Chen Yanshuang
アカデミック・リテラシーI
ビジネス・トピックス

亀井 大樹

Kami Taiki
アカデミック・リテラシーI
ビジネス・トピックス

北村 友宏

Kitamura Tomohiro
基本統計学

國枝 陽輔

Kunieda Yosuke
アカデミック・リテラシーI
ビジネス・トピックス

猿田 冬樹

Saruta Fuyuki
アカデミック・リテラシーI
ビジネス・トピックス

澤田 雄介

Sawada Yusuke
簿記学I・II

肖 淼

Xiao Miao
アカデミック・リテラシーI
ビジネス・トピックス